

プレスリリース
報道関係者各位

社会儀礼・習慣を社会化することでSDGs達成に寄与 秋田県2社が、お中元・お歳暮に社会性のある商品を選択した理由

日頃お世話になっている方に、感謝を伝えるための「お中元」と「お歳暮」。近年では、虚礼廃止ということで、ずいぶん数は減ってきたが、大切な習慣として日本社会に根強く残っている。

認定NPO法人テラ・ルネッサンス（事務局：京都府/理事長：小川真吾）は、SDGs（持続可能な開発目標）の達成期限（2030年）が迫る中、「社会儀礼・習慣を社会化する」ことで、その達成への寄与を狙っている。

その契機は、テラ・ルネッサンスを応援する、秋田海陸運送株式会社（本社：秋田県/代表取締役：西宮公平）と、秋田車両整備株式会社（本社：秋田県/代表取締役：目時秀一）が、2020年の「お中元」に、購入代金の一部が同会の支援となる「ウガンダコーヒー」を選択したことだった。

ウガンダで栽培（無農薬・無化学肥料）されたコーヒーで、株式会社クリスタル（本社：愛知県/代表取締役：木下正義）が適正価格で調達し、日本にて焙煎加工したもの。コーヒー以外に、テラ・ルネッサンスにより洋裁技術を学んだ、ウガンダの元子ども兵が制作したコースターも同封することで、両社の社会貢献を、お中元でより具体的に表現。両社の社会貢献の願いと、取引先への感謝を込めて、取引先企業へ贈られた。

▼秋田車両整備株式会社 代表取締役 目時 秀一 氏より

「取扱数量がとても少なく、大きな事は言えませんが、ウガンダコーヒーの美味しさと、そこに込められたテラ・ルネッサンスの思いを、少しでもお取引先様に伝えることができたらと思い、お送りしています。」

▼秋田海陸運送株式会社 代表取締役社長 西宮 公平 氏より

「グループ会社の秋田車両整備が始めた取組を素晴らしいと感じて、親会社でも実施いたしました。大した事は出来ませんが、こういった形で、さりげなくテラ・ルネッサンスの取組をお取引先にも伝える事により、少しでも支援の輪が広がれば良いですね。」

今後、テラ・ルネッサンスでは、両社の取り組みに後押しされ、今冬より、取り扱いを中止していた「お歳暮」「お中元」の受注を再開することに。コロナ禍による不安定な社会情勢の中、金銭による寄付だけでなく、社会儀礼・習慣を社会化することで、社会貢献の窓口を多様化。そのことで、より多くの人々がSDGsの達成に貢献できる機会を提供したい、と願うからだ。

それが、テラ・ルネッサンスが目指す「すべての生命が安心して生活できる社会（世界平和）の実現」にも繋がると願っている。

■ この件に関するお問い合わせ（取材）について

認定NPO法人テラ・ルネッサンス 法人連携担当：藤森（ふじもり）

メール：fujimori@@@terra-r.jp（※正しくは@を2つ削除）

電話：075-741-8786 / 080-6202-4231（直通）

○ 認定NPO法人テラ・ルネッサンス



ひとり一人に未来をつくる力がある

認定NPO法人 テラ・ルネッサンス

『すべての生命が安心して生活できる社会の実現』を目的に、2001年に鬼丸昌也によって設立。現在では、カンボジア・ラオスでの地雷や不発弾処理支援、地雷埋設地域の生活再建支援、ウガンダ・コンゴ・ブルンジでの元子ども兵の社会復帰支援を実施。また、日本国内では、平和教育（学校や企業向けの研修）や、岩手県大槌町を中心に、被災者支援活動を展開しています。主な受賞歴：「地球倫理推進賞」（社団法人倫理研究所）、「地球市民賞」（独立行政法人 国際交流基金）、「エクセレント NPO」組織力賞ノミネート（エクセレント NPO を目指そう市民会議）、「社会貢献者表彰」（公益財団法人 社会貢献支援財団）、「日経ソーシャルイニシアチブ」国際部門賞 ファイナリスト（日本経済新聞社）、「企業価値認定」（一般社団法人企業価値協会）など。国連経済社会理事会特殊協議資格NGO。

理事長 小川真吾 <http://www.terra-r.jp>

○SDGs（持続可能な開発目標）とは



Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、2016年から2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。